

令和7年度 北海道釧路江南高等学校の教育

教育の目的

- 【教育基本法】
- ① 人格の完成
 - ② 平和的社会的形成者の育成

校訓 …目指す生徒像

- 叡 智 学びで自立できる生徒
 希 望 夢を追求する生徒
 慈 愛 思いやりのある生徒

学校教育目標

- 1 真理の探究に心がけ、豊かな感性と高い教養、冷静な判断力を持った人となろう。「思考力」
- 2 高い理想を抱き、強固な意志を持ち、物事を科学的に処理し、夢や希望の実現を目指して実践する人となろう。「自己肯定力」「行動力」
- 3 豊かな情操を養い、社会の健全な発展に貢献できる心身ともに健康な人となろう。「想像力」「発信力」

◇スクールミッション (釧路江南高校の役割)

- 1 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- 2 伝統・文化を尊重しつつ、グローバルな視点や国際感覚をもって地域の課題解決を図ろうとする生徒の育成
- 3 学習指導や特別活動を通して主体的に物事を考え、解決する能力と、将来、ふるさとを支える人材となるための資質・能力を持った生徒の育成 (育てたい資質・能力を「江南力」と呼び、具体的に次の5つとする。想像力、思考力、行動力、発信力、自己肯定力)

◇スクールポリシー (目標達成に向けての方針)

- 1 資質・能力について →江南力を育成する
 - (1) 各教科での「深い学び」の追究と「思考力」「判断力」「表現力の育成」
 - (2) 教科と「総合的な探究の時間」を両輪とした「知」の統合と「発信力」の育成
 - (3) 特別活動等による「行動力」「自己肯定力」の育成
- 2 教育課程編成及び実施について
→進学重視型単位制を活用し、個に応じた質の高い学習指導を実践する
 - (1) 多様なニーズに応える選択科目の設置
 - (2) 観点別評価の効果的活用と充実
 - (3) 教科横断的な学びを意識した学習活動の充実
 - (4) 習熟度別授業・少人数授業の実施
 - (5) 「社会に開かれた教育課程」を意識した課題の発見・追究
 - (6) 地域及び大学など専門機関との連携
- 3 入学者の受け入れについて→以下のような生徒を希望する
 - (1) 主体的な学びを目指し、進路目標達成の強い意志を持つ生徒
 - (2) 他者への思いやりとリーダーシップを備える生徒
 - (3) スポーツや芸術に高い関心・意欲を持ち、学習と両立できる生徒
 - (4) 英語学習に高い関心・意欲を持つ生徒

◇令和7年度の重点目標

教育活動のすべてを通じて生徒の江南力を育成する。

◎各分掌の重点目標 (スクールミッションの遂行を目指して)

総務部

- 1) 年次・分掌及び委員会等との連絡調整を図り、校務運営の効率化に努める。
- 2) 防災活動を通じて、生徒の主体的な防災・減災意識と行動力を育成すると共に施設設備の保全・管理に努める。
- 3) P T A活動の円滑化に努める。
- 4) 適切な情報化 (Web ページ、あんしんメール) により、校務の効率化や広報活動の充実を図る。

教務部

- 1) 個に応じた質の高い学習指導を実践することができる教育課程の検討・編成計画を立案する。
- 2) 主体的・対話的で深い学びを実現するとともに、江南力を意識した授業づくりを促進する。
- 3) 観点別評価の効果的活用と充実に向け、日々の指導と評価及び研修成果の活用による授業改善を推進する。
- 4) 生徒の主体性を育成するとともに、進路実現に向けた履修指導を推進する。
- 5) 総合的な探究の時間の計画・実施・改善を行い、生徒が探究手法を身に付けるとともに「高い理想を抱き、自ら課題を発見し、自ら学び、考え、判断し、よりよく解決する資質や能力 (江南力)」を高められるようにする。
- 6) 地域をフィールドにした探究活動・体験的活動を通して学び、生徒が自信の在り方・生き方と向き合えるようにする。
- 7) 1人1台端末 (B Y O D) 推進における環境整備等を行い、校務の効率化をはじめ生徒の学びの幅を広げていく。

生徒指導部

- 1) 基本的な生活習慣を確立させ、柔軟な想像力を生かすとともに、多角的に物事を捉えて自身の未来像を描き、自己決定、また「自己指導能力」の育成を目指す。
- 2) 他者を尊重する姿勢を大切にしながら共感的な人間関係の育成を目指し、校内を基盤として地域との連携も意識し、個々の多様な人間性を認め合える、グローバルな人材育成を図る。
- 3) 安心・安全な風土と教職員支援の下で生徒が生き生きと活動し、自己存在感を実感しながら自身と社会の発展に柔軟に挑戦できるよう、意図的に受容的働きかけを行っていく。

- 生徒会 1) 豊かな情操を養い、自治活動をサポートすることで、自主、自立の精神を養う。
 生徒会 2) 生徒会活動をより充実させ、行事を成功させることで、江南生としての感性や判断力を養い、連帯感を深めていく。
 生徒会 3) 安心・安全な学校の中で、生徒が生き生きした活動ができるよう、意図的な受容的働きかけを図っていく。

保健相談部

- 1) 心因的な問題を内在した生徒の発見と理解に努め、健康的な学校生活が営めるように支援する。
- 2) 個々の状況等を的確に把握し、適切な支援が行えるよう、校内、外部の関係機関との連携を図る。
- 3) 教育相談、特別支援に関する情報を発信し、予防的相談活動を充実させる。
- 4) 特別支援体制及び特別支援活動の充実を図る。
- 5) 学習環境の整備、清掃を通して、物や校舎を大切にす気持ちや公共心を育む。

進路指導部

- 1) 将来の善良な市民、良き職業人として自立する意識を育て、基礎的・汎用的能力を向上させ、生徒が主体的に進路選択できるように支援する。
- 2) 3年間を見通した進路シラバスに基づく系統的な進路指導ができるように、各種の進路データを整理・分析・可視化し、他分掌・年次・教科と連携を密にし、生徒一人一人が高い理想を持って進路実現ができる組織的な進路指導を充実させる。
- 3) 紙面やホームページを通して生徒、保護者へ情報の提供や地域への広報活動を行い、進路情報の発信に努める。

開かれた学校像 (情報発信と連携)

- (1) 教育活動の一層の情報発信を心がけ、説明責任を果たす。
※ホームページ、連絡メール等の有効活用
- (2) 効果的な学校評価の実施と評価の有効活用を行う。
※情報提供の充実、評価結果 (含む分析) の公開
- (3) 地域や小・中学校、他校、大学、関係機関との連携を図る
 - ア 釧路市…施設活用、選挙出前講座、避難訓練等
 - イ 中学校…授業公開、学校説明会等
 - ウ 事業所等…就業体験、事業所訪問、校内進路説明会、交通安全教室等
 - エ 関係機関…避難訓練、薬物乱用防止講話、防犯教室等
 - オ P T A…学校祭、研修会、PTAだより『大雪原』等
 - カ 大学等…進路講演会、校内進路説明会等
- (4) 地域活動へ積極的に参加する。
※ボランティア活動や各種協会や連盟活動への参加 (各自の専門性を生かす)

土 台

チームで取り組むプロとしての教職員像

- (1) 使命感、服務規律保持、適正な会計認識をもつ。
- (2) 江南力の育成を目指し、共通理解に基づき実践する。
- (3) 自己の課題を自覚し、自己点検、自己評価する。
- (4) 学校経営参画意識をもつ。
- (5) 生徒にとって身近な社会人として、謙虚な姿勢で学び続けるプロ意識を持つ。
- (6) 教科そのものの持つ面白さを、分かりやすく簡潔に教えることができる専門性を高める。
- (7) 個々の考え方を尊重しつつ、組織的に活動できる集団となる。
(教員) みんなで (生徒) みんなを指導する。
- (8) 潜在リスクを洗い出し、危機管理を徹底する意識を持つ。
- (9) 地域の一員としての意識をもつ。
- (10) 互いに切磋琢磨する職場風土を醸成する。